A J J



NP0 法人高次脳機能障害友の会みずほ 会報 第90号 (総会号)



**目次** ■第18回総会報告 交流会 P2~7 ■理事長就任のご挨拶 P7

- ■R5 年度の活動について ~各部会から~ P8 ■特集 運転シリーズ 4 番外編 P9~11
- ■ワークハウスみかんやま P12~13 ■M さん裁判が提起したもの P14~15
- ■日本高次脳機能障害友の会 総会のご報告 P15 ■入会のご案内など P15~16

## 第18回総会

令和5年5月13日(土)名古屋市中区のイーブルなごや視聴覚室にて、NPO法人高次脳機能障害友の会みずほ第18回総会を開催いたしました。正会員・賛助会員のみなさんにも参加いただいて開催することができました。

#### ■第1号議案 令和4年度の事業報告(案)

特定非営利活動法人高次脳機能障害友の会みずほは、《高次脳機能障害者及び家族のための相談・支援に関する事業》《高次脳機能障害について正しい理解を広めるための事業》について、また、各相談への対応件数、活動においてはコロナ禍の中での影響もあったもののリモート開催も含めて工夫して継続できたことを報告しました。

ワークハウスみかんやまは、《障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス》として新 規受託の大口受注があったことや、新規利用率も上向きになってきたことから、工賃増額 にもつながっていることなどを報告しました。

■第2号議案 令和4年度の活動計算書(案:6ページ記載)を報告しました。

#### ■監査報告

#### 監查報告

特定非営利活動法人 高次脳機能障害友の会みずほの定款第49条に基づき、法人の 令和4年度事業報告、貸借対照表、活動計算書、財産目録の決算に関する書類を監査 した結果、適切かつ適宜であると認めましたので報告いたします。

尚、令和4年度はコロナによる利用者の通所控えが改善されたものの、依然事業所の 利用率の伸び悩みもあり事業の運営に於いて影響しました。

> 令和5年5月13日 監事都留伊都子

#### ■第3号議案 令和5年度事業計画(案)

特定非営利活動法人高次脳機能障害友の会みずほ

#### 《高次脳機能障害者及び家族のための相談・支援に関する事業》

- ・当事者・家族からの相談を電話・メール・来所により受け付ける(月・木)。
- ・愛知高次脳機能障害協議会として家族相談会(愛知県高次脳機能障害者社会復帰促進事業)を引き続き開催する。(※8会場・日程はホームページをご覧ください)
- ・企画グループ、地区会、若い失語症者のつどい、キッズプラス、ミラクル(妻の会)・レ ディースの会、などの当事者および家族参加の活動を継続・サポートする。
- ・働くなかまの集いは名古屋リハ就労支援課及びなごや高次脳機能障害支援センターと連携して継続する(4回予定)。・当事者・家族会向けの交流会を開催予定。
- ・一人暮らし体験の場(みかんやまハウス)の提供を継続し、自立に向けて支援する。

#### 《高次脳機能障害について正しい理解を広めるための事業》

- ・第18回総会 5/13イーブルなごや ・損保協会助成あいち高次脳機能障害リハビリテーション講習会 11/25(土)中区役所ホール13時~16時開催予定 ・高次脳機能障害に関する研修会を予定(大府市) ・日本高次脳機能障害友の会全国大会10/1開催を検討中
- ・東海ブロック会議 ・県高次脳機能障害連携調整委員会 ・NASVA協力病院・施設の会議に参加 ・中区福祉ふれあいサポーター部会に参加 ・会報誌(年3回予定)
- ・高次脳機能障害啓発のための冊子販売

以上を展開していきます。

#### ワークハウスみかんやま

#### 《障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス》

作業・・施設内・外作業、出張所作業 (Café すてっぷ営業毎週木~日曜日 11~14 時)、 店頭販売 (なかよしマーケットなど)

取り組み・・新規作業の開拓 ・出張所作業の利用者数・営業日を増やす ・相談支援 事業所との連携を充実させる ・登録者及び利用日数を増やす ・地域での店頭販売の 開拓を行う ・グループワークを行う ・職員向けの研修会の実施 ・工賃増額に見合 う作業受託のための営業活動と工賃の見直しを行う

余暇活動・・麻雀、音楽療法、映画 (DVD) 鑑賞、笑いヨガ

**行事・・**防災訓練2回、クリスマス会、大掃除&忘年会、お花見、大相撲観戦など 以上を展開していきます。

#### ■第4号議案 令和5年度活動予算(案:6ページ記載)

#### ■第5号議案 役員改選の件

理事 : 市川 幸夫 大澤 奈保美 河田 幹子 佐藤 道子 曽我 亜紀子

都留 伊都子 長谷川 潤 平野 陽介 丸山 秀樹

監事 : 佐藤 真由美 永井 鈴子

以上、議案審議すべてが承認されました。



総会後、顧問の深川先生、なごや高次脳機能障害支援センターの川嶋支援コーディネーターを交えて、会員の皆さんと交流会を行いました。話し合われた中からいくつか・・・。

**福祉のグループ**は、なごや高次脳機能障害支援センター支援コーディネーターの川嶋さんにマイ・ノートの説明をしていただきながら交流会を進めました。

参加者から、「事故・病気後年数が経っていると古い書類ばかりでまとめるのが難しい」「マイ・ノートにチェックする部分でも改善されたら消せるので鉛筆書きがいいかもしれない」「なかなかうまくできない、どうしたら記録できるのだろう」等々いろいろな意見、感想が出ました。また、障害を負ってから数年間の記録などを記入されたご自身のメモリーノートをもって来られた方もいました。整理して一冊にまとめておくことでわかりやすくなり、また自身の障害特性を説明するのが難しい場合、ファイルに記録しておくことで誰にでもわかってもらえる利点があることがわかってきました。

マイ・ノートを活用することで、支援者の方にも高次脳機能障害者への理解が深まっていただけることを期待しています。

医療のグループは、大同病院の深川先生に質問・回答していただく形式で進めました。

- ・ストレスが無いと気にしなくても大丈夫、人間にとってストレスがないことは良いことです。
- ・引きこもりで、行動しようというモチベーションにつながらないなら、まずはしなくてはならない行動を一つ始めましょう。ただし、本人がやらなくても親は絶対に代わりにやらないこと。
- ・失語症があり、簡単にできないことがある場合、言葉だけでなく図や絵によって説明してみましょう。
- ・加齢による記憶の衰えは障害の有無に関係なし、記憶が顕著に悪くなってくる場合別の 要因が考えられるので、早めに受診しましょう。
- ・何度促しても服薬を忘れる場合、必ず薬に触らざるを得ないパターンを作ってみましょう。「考えて」ではなく、無意識に行動できるようになるまで繰り返しましょう。
- ・ゲームに夢中になって困っている場合、時間を決めてやることを習慣づけましょう。ダメなことはダメと繰り返し言うしかありません。

深川先生から・・障害者も社会の構成員の一員であり、社会参加する(させる)べき。 そのためには社会のメンバーとして、最低限やるべきこと、やってはいけないことは障害 者も身につけなければならない。当事者家族が行うべきことは、このことが「習慣化」と なるようにすること。それ以上の要求は「理想の押し付け」にならないよう必要性を吟味 すること。

当事者からの要求は受け止めなければならないが、共感するか否かはケースバイケース。 言いなりは絶対ダメ!「社会のメンバーシップを目指しましょう」との提言をいただきま した。





福祉グループ





第2号議案 令和4年度活動 計算書 及び 第4号議案 令和5年度活動予算(案) (単位:円)					
科目	令和4年度			令和5年	9A DB
	予算	決算	増減額	予算	説明
I収益の部	(A)	(B)	(B-A)	(C)	
会費収益	650,000	668,000	18,000	680,000	正会員3000円×190人 賛助2,000円×30人 ※見込人数
寄付金	500,000	425,000	-75,000	500,000	自動車教習所協会・会員・一般
補助金·助成金	1,000,000	1,314,307	314,307	1,300,000	処遇改善一時金・名古屋市より光熱費として補助金あり
雑収益•受取利息	40,000	13,237	-26,763	20,000	利息・バザーなど
事業収益					
①障害福祉サービス事業収益	30,000,000	28,687,503	-1,312,497	30,500,000	給付金・作業受託・利用者負担金・物品・喫茶売上など
②生活支援事業収益	300,000	6,000	-294,000	100,000	4階居室料・AKK相談室料など
③研修啓発事業収益	150,000	226,730	76,730	250,000	冊子販売·愛知高次脳機能障害運営費等
当期収益合計(A)	32,640,000	31,340,777	-1,299,223	33,350,000	
Ⅱ 支出の部					
1、事業費					
①障害福祉サービス事業					
(1)人件費	21,000,000	21,770,645	770,645	21,500,000	給与・賞与・社会保険料・通勤費・利用者工賃・各手当等
(2)その他経費					
消耗品 • 事務用品費	350,000	292,985	-57,015	300,000	インク・用紙・一般雑貨費
旅費交通費	70,000	14,390	-55,610	70,000	出張費·交通費
通信運搬費	160,000	191,918	31,918	200,000	携帯・電話代・郵送料など
地代家賃•賃借料	4,900,000	4,771,920	-128,080	4,800,000	家賃・リース料金(複合機・ビジネスホン・印刷機)
水道光熱費	510,000	603,018	93,018	600,000	電気・ガス・水道料金
車両費·車両維持費	110,000	226,815	116,815	110,000	ガソリン代・定期点検
業務委託費·外注費	80,000	85,600	5,600	80,000	作業療法支援ネット・ホームページ更新等
保険料	350,000	378,610	28,610	380,000	自動車保険(2台)・傷害保険・火災保険等
雑費・その他	2,820,000	2,775,074	-44,926	2,900,000	教育訓練費・修繕費・諸会費・材料等・売上原価・減価償却費等
①障害福祉サービス事業支出合計	30,350,000	31,110,975	760,975	30,940,000	
②研修啓発事業費	100,000	44,207	-55,793	120,000	講演会・冊子仕入れ等売り上げ原価
③生活支援事業費	600,000	602,600	2,600	600,000	地区会・各会の集い等、みかんやまハウス3.4階地代家賃等
事業支出合計	31,050,000	31,757,782	707,782	31,660,000	
2、管理費					
人件費	550,000	571,489	21,489	550,000	パート事務員給料・通勤手当等
旅費交通費	150,000	179,450	29,450	250,000	交通費・ボランティア交通費など
通信運搬費	100,000	38,723	-61,277	70,000	会報発送・ゆうメール・電話料金、等
消耗品·事務用品費	140,000	69,937	-70,063	100,000	インク・会報用紙 封筒・雑貨類等
外注費	100,000	139,152	39,152	150,000	会報作業委託·消防点検等
総会費・諸会費・会議費	80,000	80,253	253	80,000	会場費·日本高次脳会費等
水道光熱費・地代家賃	350,000	359,957	9,957	350,000	家賃·光熱費
雑費・その他	100,000	31,296	-68,704	100,000	租税公課・保険料・支払い手数料等
管理費支出合計	1,570,000	1,470,257	-99,743	1,650,000	
当期支出合計(B)	32,620,000	33,228,039	608,039	33,310,000	
当期正味財産増減額(A-B)	20,000	-1,887,262	-1,907,262	40,000	
前期繰越正味財産額	31,525,536		0	31,525,536	

#### 令和5年度 特定非営利活動法人高次脳機能障害友の会みずほ

【理事長】長谷川 潤 【副理事長】河田 幹子 丸山 秀樹

【理事】 市川 幸夫 大澤 奈保美 佐藤 道子 曽我 亜紀子 都留 伊都子 平野 陽介

【監事】 佐藤 真由美 永井 鈴子

【顧 問】 稲葉 健太郎 名古屋市総合リハビリテーションセンター自立支援部長 深川 和利 大同病院・だいどうクリニック高次脳機能障害センター長 吉川 雅博 前理事長

#### 【ワークハウスみかんやま職員】

施設長兼サービス管理責任者:河田 幹子 職業指導員:森 美恵子

生活支援員: 依田 正克 佐藤 由香理 長谷川 奨太 生活支援員兼事務: 佐藤 道子パート: 3名



(左から): 市川 長谷川じゅ 河田 平野 吉川 深川 佐藤み 森 長谷川しょ 柴田 大澤 依田 佐藤ま 永井 都留 (敬称略)



#### 理事長就任のご挨拶

長谷川 潤

去る5月13日に開催された総会後の理事会において、理事長を拝命致しました長谷川潤と申します。

私の高次脳機能障害との関わりは、22年前に高校生だった息子が、スポーツ事故により 受傷したことが始まりです。

その後名古屋リハにみずほを紹介頂き、約20年前からみずほとの関わりも始まりました。 と言いましても、当時現役サラリーマンだった私自身は、仕事にかこつけ息子のことは妻に 任せっきりでしたので、実際みずほと関わっていたのは妻でしたが。

昨年縁あって理事にと声を掛けて頂き、先述したように今回理事長を承ることとなりました。高次脳機能障害についても、NPO法人の運営についても、乏しい知見ですが、先輩諸氏のご支援、ご協力を得ながら、会の運営を行っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



# R5 年度の活動について~各部会から~

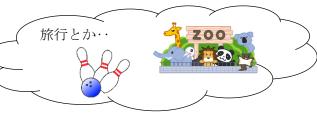
#### キッズプラス

・対面で開催したいという声がある一方で、遠方の方から「zoom はありがたい」の声もあるので、開催方法を検討していく。



楽しいことがしたい。





#### 若い失語症者のつどい

今年はすでに失語症の日記念事業「あつまれ425 あいち 2023」に取り組んだため、特に新しい企画はない。話をすること が中心になる。会話パートナーのサポートがあり、年6回開催の予定。

#### 企画グループ

2月に年間計画を立てた。例年と同様だが10月のお出かけプログラムは9月に決める。

以前は行事が終わるとそのまま帰ってしまったけれど、一人の声がけで 一緒に食事に行く姿も見られるようになりました。年数を重ねてきたことで 仲間意識が芽生えてきたのではないかと見守っているところです。



参加してみませんか!

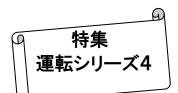
#### ミラクル(妻の会)&レディースの会

開催曜日を変更することを考えている。参加しやすいタイミングを検討する。年 2 回開催を 希望により増やしていきたい。

#### 働くなかまの集い

今年度は、4月にメンバーから提案された以下のテーマに沿ってグループワークを実施して いく。

- ・職場の人間関係(上司・同僚) ・家族との向き合い方 ・ストレスの解消法
- ・休日の過ごし方 ・役に立つ資格、勉強法 ・高次脳機能カルタ
- ・ 高次脳機能障害の上手な伝え方 ・カローリング等体を動かすスポーツ



# 番外編

脳出血、脳梗塞などを発症したという話を身近で見聞きすることが何度かありました。普段自動車を必要とされている方ばかりです。発症後比較的短期間で運転を再開されたという話も聞きました。その中の一人の方は免許の更新を迎えた時、申請書の内容についてチェックされ、診断書の提出を求められました。提出した後は免許センターから何も言われることはなかったそうです



病気を発症してから運転を再開するときや、免許を取得するときは、免許センターに相談するということが周知されていないし、そのことを教えてくれる人が(医師を含め周りに)いないんですね。

交通事故による高次脳機能障害発症後、運転は一切やめていた方の話です。運転はしなくても免許の更新を何回か続けていたそうです。何回目かの更新で、申請書を出すときに「医師からとめられている」と話したことで事情を聴かれ、診断書の提出を求められたそうです。この方は、診断書の提出後、免許の更新を認められたということです。

運転免許証は身分を証明するためにとても役立つアイテムですよね。もっと も、マイナンバーカードの普及とともに、その役割は変わっていくのでしょう が・・・

診察時に車で通勤している話が出たとき、「運転してはいけない」といったことを医師から 言われたというお話を聞きました。それまでは運転していることを話しても何も指摘されな かったそうです。家族も本人も「なんで今頃・・・」と当惑してしまい、免許を取り上げら れるのではないかといった不安もあって免許センターに相談に行くこともためらわれていま す。

「運転の可否は医師が決めるのではなく、免許センターが決める」 ということはこのシリーズ 1 の「道路交通法の豆知識」でも触れました。





4月22日(土)、この日は失語症の日記念事業

「 あつまれ425 あいち 2023 」

が刈谷市総合文化センターアイリスで開催されました。天気にも恵まれ、

多くの方がこのイベントに参加されました。

M さんもこのイベントに参加されたお一人です。M さんは、高次脳機能障害と同時に、失 語症も発症されていますが、昨年 11 月に車の免許を取得されました。

今回は、このイベント会場で M さんにインタビューしたことを報告します。



Q

## 今日はここまでどのようにして来られたのですか?

JR を利用してきました。



Q

差し支えなければ、発症に至るまでの経緯を教えていただけないで しょうか。いつ、どんなことが原因でといったことでいいのですが・・・

10年前、高校1年生の時、脳出血を起こしたことが原因です。 病院に6か月ほど入院しました。右半身にまひが残り、右側の視野もやや狭くなっています。それまで普通の高校に通っていましたが、言葉の不自由もあって、特別支援学校に通うことになりました。





なぜ免許を取ろうと思ったのか。免許を取ろうと考えたきっかけとなることがありましたら、教えていただけないでしょうか。

現在介護施設で勤務しています。周囲の人はみな車を運転することができ、車で通勤する人もいて、車の運転をしたいと思うようになりました。車の運転ができれば、職域を広げることもできると考えました。





## 免許を取るとき大変だったこと、 エピソードがあればお聞きしたいのですが。



主治医の先生にも相談してから、平針の免許センターに行きました。右側の半身にマヒがあるのでいくつかの条件付きですが、去年の7月自動車学校に通うことになりました。車はハンドル旋回装置付きなど、運転にはメガネの着用も必要です。学科の内容は難しいと感じることもあり、小テストに苦戦しながらも取り組みました。カーブ・S字は不安がありました。指導員は怖い人と優しい人がいたかな。仮免は一発で合格できましたが、本免では緊張して踏切で失敗。でも、2度目で合格。学科も2度受けて合格することができました。



# 免許を取ってよかったと思うこと、免許をとって変わったことなどありますか?

この先の就労について職域が広がることです。今、転職活動もしていて、 それがうまくいけば一人暮らしもするつもりでいます。車もその時に小型 で中古でもいいので買いたいです。職場で清掃作業もしているので掃除は 慣れているし、家では風呂洗いや皿洗いなどもしています。免許を取って から一度も運転していないので、はじめは父に同乗して もらって少しずつ慣らしていきたいと考えています。



M さん、取材にご協力いただき、 本当にありがとうございました。



運転シリーズは、今回が最後になります。今までありがとうございました。 (都留)